

3年学年だより



大阪市立築港中学校

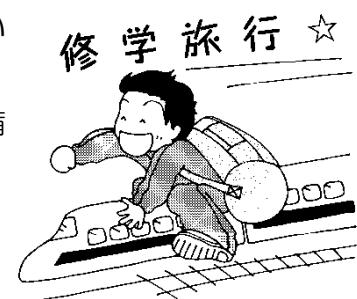
第 8 号

平成 30 年 5 月 14 日発行

いよいよ、あす修学旅行！…準備は大丈夫？

いよいよ、明日 15 日（火）、修学旅行へ出発します。今日の前日指導の持ち物検査では、多くの生徒に忘れ物がありました。明日は絶対に忘れないでください。また、これまで長い間修学旅行に向け、さまざまな準備をしてきました。明日からの修学旅行が実りあるものになるよう、荷物の準備だけでなく「**こころの準備**」もしてください。

**お世話になる民泊家庭の方々への感謝の気持ち
ヒロシマという土地を訪れることで感じる平和への願い
そして、40期生が一丸となって行事を盛り上げ、協力する気持ち
…などなど**



さまざまな思いのある中、くれぐれもルールやマナーを守り、気持ちよく 3 日間を過ごすために規律ある集団行動をしてほしいと思います。

団結♡協力 40期生 ピア・サポートが光ります☆

遅刻厳禁！…集合時間を守ってください

とても朝は早いのですが、頑張って新大阪に来てください。ただ、遅刻しないために「オールする！」とか「友だちの家にとまる」とかは絶対にやめてください。睡眠不足は体調が悪くなり、また、乗り物酔いの原因にもなります。友だちの家に泊まるのは、そのおうちやご近所にも迷惑がかかります。



制服は合服で！…オフィシャルウェアは守ってください

現在、更衣調整期間です。しかし、修学旅行中は暑くなるという予報もあります。民泊中は、寒暖の差もあるようですが、出発の標準服を合服に揃えたいと思います。（直前の変更ですみません）

ブレザーや長袖学生服は脱いできてください。そして、以下の注意を守ってください。

(1) カッターシャツやフラウスは白色ですので、下着は白色で、色ものは避ける。

下に着ている柄が表面に見えないようにしてください。

(2) カッターシャツやフラウスは、長袖か半袖にし、長袖は絶対に折り曲げて着ない。

（長袖か半袖の二者択一）

(3) カッターシャツやフラウスのすそは、必ずズボンやスカートに入れる。

(4) 男子のベルトは色を守る。

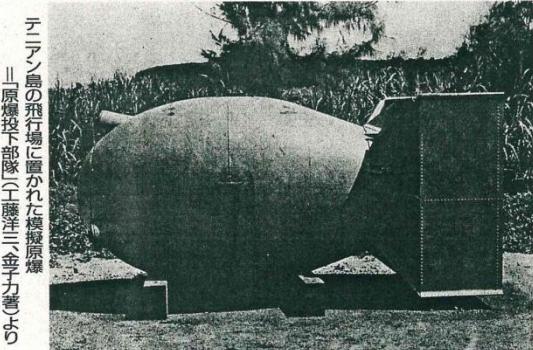
(5) 女子のベストは、学校指定のものであれば、認める。

朝、家を出て新大阪までの間寒い場合は、冬の体操服を着ても良い。

ヒロシマを考える

広島や長崎に原爆が落とされる前に、49発もの模擬爆弾（実験爆弾）が全国各地に落とされています。大阪も同じ、東住吉区にも落とされていました。爆弾の中が「原子爆弾」か「普通の爆弾」かの違いだけで、ひょっとすると大阪も広島や長崎と同じように焦土と化したかもしれない事実があります。「広島に原爆が落とされた歴史を学び、世界におけるヒロシマの重要性を知る」…広島の地で、私たちにできることを考えてみましょう。

「模擬原爆」被害都市 橋渡し



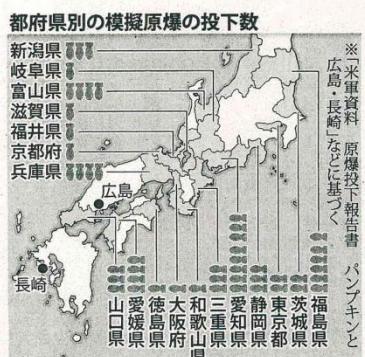
戰後
70年

大阪の市民団体

米ニユーヨークの国連本部で開かれた核拡散防止条約(NPT)再検討会議は、約一ヶ月にわたる交渉が決裂という結果に終わった。核の恐ろしさを身をもって知る被爆者からは失望や落胆の声が上がる。しかし「核兵器禁止へ向けての歩みを停滞させてはいけない」と新たな取り組みを進める動きは根強い。(一面参照)

核廢絕へ連携強化

49発投下 400人が犠牲



【大阪の会】常任委員会
話人の長尾正典さん
(76)は「模擬原爆の製作と投下は、広島と長崎の原爆投下に至る重要な動きだ。史実を知つてもらいたい」と話す。NPT再検討会議で交渉が決裂に終わることについて、「核兵器

トマン」と同じ形状で
重さ1万ボン(約4・5
kg)、直徑約1・5m、
長さ約3・3m。通常
爆弾用の爆薬が詰め込

模擬原爆は、米軍が
1945年8月9日に
長崎に投下したブルト
二ウム型爆弾「ファッ
トマト」だ。

されてきた。今年が戦後70年となるのに合わせ、7月に大阪で集会を開いて被爆地の連携を強め、核廃絶に向

り出す。模擬原爆は被
害の実態があまり知ら
れておらず、追悼行事
米側では「パンプキン」
まれた。形がカボチャを
に似ていたことから、

大阪では45年7月26日午前9時26分、1発の模擬原爆が東住吉区の元料亭を直撃し、7人が死亡、73人が負傷した。現地には2001年に碑が建てられ、

語
つ
た

器業禁止に向かうのが道理なのに、非常に殘念」と語った。
「つどい」の参加は無料。問い合わせは大手前会館（06-6776
5・30932）。

「引き続き努力」

「V」と述べた。

岸田外相 岸田文雄外相は23日、中国の反対で削除された「広島・長崎への各

午後、選挙区の広島市で取材に応じ、決裂したNPT再検討会議に國指導者の訪問」といふ日本の提案に代わり、被爆体験の共有を

について「被爆70年の節目の年に開催された会議で、最終文書の合意促す内容が盛り込まれた点は「提案通りの表現にはならなかつたが、ふぶくこも意図が

は至らなかつたことは、が、少くとも意図が非常に残念。『核兵器明らかになる形で盛りのない世界』に向けた取り組みに悪影響が出込まれた。これはN.P.T史上初めてで、前進

「 ないよう、引き続き努力を受け止めている」と評価した。【石川裕士】

2015年5月24日(日)

每日新聞 朝刊